

若手エンジニアステップアップセミナー

県立大学では、企業エンジニアの基礎的工学知識の習得を支援する『若手エンジニアステップアップセミナー』を毎年開講しています。平成 27 年度は、「機械系コース」「電子情報系コース」「生物工学系コース」「環境工学系コース」の 4 コース合わせて 31 社から 61 名の方が受講されました。

ステップアップセミナーの特徴

- その 1：企業メンバーを中心とした運営会議をコースごとに実施している
カリキュラムに企業の生の声を取り入れるため、研究協力会会員企業から各コース 4～5 名の企業エンジニアの方から、カリキュラムについてご要望・ご意見をいただく運営会議を実施しています。運営会議はコースごとに、カリキュラム確定前（6 月頃）、セミナー終了後（1 月頃）の年 2 回、合計 8 回開催しており、各コースの担当教員が毎年カリキュラムを改善しています。
- その 2：研究協力会会員への受講料半額助成がある
平成 27 年度は、研究協力会の 27 企業 54 名の方へ受講料を助成しました。
- その 3：平日夕方（18:00/18:30～20:00）に実施するので、会社帰りに受講可能
毎日忙しい若手エンジニアのみなさんでも、出席率は 9 割を超えています。
- その 4：開講前に受講者の要望を確認
10 名～20 名程度の少人数制だから、受講者の要望に応じて講義をカスタマイズできます。
- その 5：環境工学系コースは CPD 制度に対応（平成 25 年度～）
CPD 単位の取得は、主に建設系のキャリア証明として、プロポーザルにおける技術者の評価基準などに活用されています。

大好評！

受講者の声

- ・大学で学んだことを思い出す良い機会になりました。
- ・演習や実験もあり、普段の業務で使う知識や技術について理解を深めることができました。
- ・講義だけでなく、意見交換会もあり、他の受講者が大学の先生方とのつながりができました。



機械系コース屋代准教授の講義の様子

環境マネジメントセミナー



参加者同士によるワークショップの様子

平成 28 年 1 月 22 日(金)富山県立大学において、「環境マネジメントセミナー」が開催されました。このセミナーは、企業が取り組みやすい「エコアクション 21」や、今年大幅改訂した「ISO14001」を中心とした環境マネジメントシステムの仕組み・導入効果や、より効果的・実践的な運用方法等について紹介することを目的に開かれたものです。

大東文化大学環境創造学部准教授の鶴田佳史氏による講演、県内企業によるエコアクション 21 への取り組み事例の発表に加えて、参加者が抱える環境経営に関する課題をワークショップで議論するなど、実践的なセミナーとなりました。なお、セミナー後には情報交換会が行われ、受講者同士の交流の場が設けられました。